

機密

手記

表

「疑問解答」目次

十六七二十六

南二

- 一 英米蘭等ハ對日包圍陣結成ノ爲如何ナル策謀ヲ爲シ居ルヤ
- 一 英米濠蘭ノ政治的合作
- 二 英米ノ對重慶工作
- 三 英ノ對泰工作
- 四 英米ノ對日經濟壓迫措置
- 一 佛印側ハ如何ナル反日行動ヲ執リ居リタルヤ
- 一 佛印官憲ノ反日行動
- 二 「ドゴール」派佛人ノ反日策動
- 一 南部佛印進駐ガ英米ニ及ホスヘキ影響如何
- 一 南部佛印進駐ノ結果米國ノ執ルコトアルヘキ對日經濟的措置如何
- 一 在米本邦資産ノ凍結
- 一 金ノ買入停止

S 1.7.0.0-14 1245

2

- 三 重要物資ノ對日供給停止
- 四 帝國船舶ニ對スル差別待遇
- 三 本邦商社ノ排斥
- 一 南部佛印進駐ノ泰國ニ及ホスヘキ影響如何
- 一 今後ノ對泰施策及一般南方施策如何
- 一 交渉安結後ノ日佛關係ヲ如何ニ爲スヘキヤ
- 一 佛印ニ對スル爾後ノ措置如何
- 一 英米支軍事協定ハ存在スルヤ
- 一 佛印進駐ノ蔣政權ニ與フル影響如何
- 一 佛印進駐ノ國民政府ニ與フル影響如何
- 一 佛印進駐ノ華僑ニ與フル影響如何
- 一 佛印進駐ノ蘭印ニ及ホス影響如何
- 一 英米等ノ重要物資對日輸出制限ノ現狀如何

S 1.7.0.0-14 1246

REEL No. A-1078

0180

アジア歴史資料センター

問

英・米・蘭等ハ對日包圍陣結成ノ爲如何ナル策謀ヲ爲シ居ルヤ

答

一英・米・濠・蘭政治的合作
 駐米「ハリファックス」英大使及「ケーシー」濠洲公使ハ本年
 初頭ヨリ屢々「ハル」國務長官ト會見シ居リタルカ右ハ南太平
 洋ニ於ケル英米合作ヲヨリ緊密化スル爲ナリシコトハ疑無ク、
 米國ハ二月在濠米國大使館附武官ヲ任命スルト共ニ北濠洲ノ海
 空軍基地タル「ダーウイン」港ニ駐在スヘキ海軍顧問（「ネイ
 ヴァル・オブザーヴン」）ヲ任命シ又三月十七日ニハ新西
 蘭ヘ又同二十日ニハ濠洲ヘ夫々別個ノ艦隊ヲ派遣シ以テ濠洲・
 新西蘭ニ對シ專アル時ハ米ノ來援スヘキコトヲ誇示セリ
 三月十九日蘭印訪問ノ途次華府ニ立寄レル「ファン・クレフェ
 ンス」和蘭亡命政府外相ハ米大統領ト會見蘭印防衛問題ニ付話
 合ヘルカ、四月二日英國極東軍總司令官「サー・ロバート・ブル

3

S 1.7.0.0-14 1247

4

「ボファム」ハ突如馬尼刺ニ飛來「セイヤー」米國高等辨
 務官・「ハート」米國亞細亞艦隊司令官・「グルナート」駐比
 陸軍司令官及「ビームス」第十六海軍區司令官等ト會談四日香
 港ニ歸リタルカ同月八日前記和蘭外相「クレフェンス」ハ「ウ
 エルター」同國植民相ト共ニ馬尼刺ニ到着「セイヤー」ト會談
 ノ後九日香港ヨリ引返セル「ボファム」英極東軍司令官「グル
 ナート」陸軍司令官「ビームス」海軍區司令官等ヲ交ヘ會談セリ
 右英米蘭三國會談ノ結果左記事項ニ關シ協議ナレルモノノ如シ
 (イ) 英米蘭三國軍事協定ノ締結
 (ロ) 新嘉坡防備ニ關スル米國海軍ノ責任分擔
 (ハ) 重慶ニ對シ英國ト協同緬甸防衛ノ爲派兵方要求
 (ニ) 蘭印又ハ緬甸カ侵略セラレタル際侵略者ニ對シ戰宣布告決定

S 1.7.0.0-14 1248

英米ノ對重慶工作

英米蘭ハ蔣介石ヲ右共同戦線ニ参加セシムヘク八方劃策セシカ
 商震ヲ首席トスル軍事使節團ノ新嘉坡訪問 新外交部長郭泰
 祺ノ歸途華府「マニラ」新嘉坡ニ於ケル首脳部ノ協議英米専門
 家ノ重慶訪問等ヲ經テ 遂ニ三月十二日蘭貢ニ英支共同「ゲリ
 ラ」戰指導者養成學校設立協定 三月十九日英支軍事協定調印
 (英ノ對支援助及緬甸ノ協同防衛) 三月下旬緬甸鐵道敷設協定
 又米國ハ「コンロー」少佐以下航空士ヲ支那ニ派遣スルト共ニ
 支那空軍援助ト引換ヘニ支那航空基地ノ共同使用ニ關スル協定
 ヲ締結セリ尙最近英米支軍事協定ニ基キ新嘉坡ニ聯合軍參謀部
 設立準備中ニシテ重慶側ヨリハ七名ヲ派遣スル事トナリ 差當
 リ商震外一名ヲ派遣シツツアル外日本トノ武力衝突後一週間内ニ
 蔣軍六萬ヲ馬來ニ派遣スルコトニ合意成立シタリ
 更ニ確實ナル報道ニ依レハ本月中旬英支軍事同盟締結ノ見込ニ

英ノ對泰工作

シテ右ニヨレハ同盟ハ日本ノ南進開始ト同時ニ發動セラレ重慶
 側ハ「ビルマ」ニ特定部隊ヲ進駐セシムル規定ナリ
 英ノ對泰政策ハ一萬國境方面ニ於ケル兵力集中 反「ビブン」
 派 華僑及共產黨ノ煽動ニ依ル「ビブン」暗殺又ハ「ビブン」
 政權顛覆運動使暎竝麻袋ノ輸出制限又ハ「タイ」ノ在倫敦正貨
 凍結ヲ廻リテノ經濟壓迫等凡ニル政治經濟及軍事の壓迫ヲ加ヘ
 ツツ 他方石油ノ供給(最初六千噸)等ニ依リ極力懷柔ヲ試ミ
 硬軟相俟チテ「タイ」ヲ自己軍營内ニ惹キツケ以テ日泰離間ヲ
 策シツツアリ尙泰政府ハ英極東軍司令官ノ招待ニ應シ本月十一
 日軍事使節ヲ新嘉坡ニ派遣セルカ右ハ英國側ニ於テ極東軍ノ強
 大ヲ誇示シ泰ヲ懷柔セントノ魂膽ナリト見ラル

四 英米ノ對日經濟壓迫措置

- 1、米國カ石油其他若干ヲ除ク外對日禁輸ヲ實施シ來リタルハ周知ノ通ナル處五月三十日以降比島ニモ右輸出制限法ヲ適用スルニ至レリ
- 2、英領ニ於テハ層鐵、「ニツケル」、麻袋、「ジユート」、「マンガン」、護膜、錫、「ボーキサイト」等ヲ禁止シ、其他羊毛、小麥、鐵ニ付テモ逐次輸出制限ヲ強化シツツアリ
- 3、日韓印交渉カ英米ノ使曠ニヨリ決裂ニ至リタルハ衆知ノ如シ
- 4、「タイ」佛印亦英米ノ壓迫ニ依リ米、「ゴム」、錫等ニ付キ條約上ノ義務ナキモノハ勿論棄テアルモノニ付テ迄我方ニ對スル供給ヲ滞リ居レリ

S 1.7.0.0-14

1251

問 佛印關係ハ如何ナル反日行動ヲ執リ居リタルヤ

答一 佛印官憲ノ反日行動

佛印官憲ハ幾ニ各年末進駐中ナル帝國軍人ヲ侮辱シ在留邦人ヲ壓迫シ或ハ帝國ノ臣民又ハ將兵ト接近セントシ乃至好意ヲ有スル佛印土人ヲ壓迫シ或ハ重慶政府特派員ノ佛印ニ於ケル反日行動ヲ目認シテアカラ帝國ト協力シツツアル南京政府派遣員ニ對シテハ武力ヲ以テ其ノ事務所及個人ノ撤退ヲ強要スル等執拗ナル反日行動ヲ續ケ又最近ニ於テモ例ヘハ佛印經濟調查團ノ佛印行ッ本來之ト直接關係ヲ有セサル日佛經濟會議ノ審議ニ係ラシメ以テ暗ニ帝國トノ非協力態度ヲ堅持シ居レリ

二 「ドゴール」派佛人ノ反日行動

現在佛印政府ノ重要ナル地位ヲ占メ居ル左記人物ハ明瞭ニ「ドゴール」派ニ屬シ且ツ英米間ト當時密接ナル聯絡ヲ採リツツ本國ニ對スル裏切り並ニ反日行動ヲ企ツツアリ

S 1.7.0.0-14

1252

「ジュアン」海軍大佐
 「マニアン」陸軍中佐
 「デルサール」元總督府總務長官
 「マントヴァニ」
 「シャールトン」
 「ガネイ」
 「ドラシエヴコチエル」
 西貢佛級「デペーシユ」社長
 史ニ最近最モ信頼ニヘキ情報ニ依リ判明セル處ニ依シハ石ノ内
 「ジニアン」大佐ハ本年一月十八日新嘉坡ニ於テ英脚トノ間ニ
 極秘神ニ英佛通商航海秘密協定ヲ締結セル處石協定ハ明瞭ニ佛
 本國ノ主權ヲ侵害スルモノナルノミアラズ客年八月三十日ノ松
 岡「アンリ」協定ニ違反スル反日的條項ヲ含ミ居レリ
 タトヘハ武裝巡洋艦ニ轉用可能ナル「マレシヤル、ジヨフル」
 「タルタニアン」「アラミース」ノ三隻及將來佛印ニ入港スヘ

總督武官長

「カンボヂヤ」軍參謀長

現東京理學長官

總督府政務局長

總督府教育部長

印度支那銀行總裁

西貢佛級「デペーシユ」社長

キ十四即又ハソレ以上ノ速力ヲ有スル佛國船艀ニ關シ英海軍
 司令官ノ爭削ノ同意ヲクシテ支那警備區域外日本ノ諸港又ハ上
 海ノ北方ヘ赴カンメサル旨ヲ英脚ニ約束シ其ノ他英國民間飛行
 機ニ對シテ佛印内飛行場使用ニ付便宜供與ヲ約束シ尙一月二十
 日英艦隊長官トノ會談ニ於テ對日情勢惡化ノ際ニハ佛印ハ其船
 船ヲ香港又ハ新嘉坡ニ入レ英國ノ管理下ニオクヘキコトヲ約束
 シ居レリ
 史ニ其後佛印「ドゴール」派要人ノ新嘉坡當局トノ會談ハ益々
 頻繁トナリ居レリ

問

佛印進駐カ英米ニ及ホスヘキ影響如何

答

英・米・蘭各國ハ日本ノ南進政策ヲ虞レ此レカ對抗策トシテ右三國間ニ共同防衛ノ爲ノ軍事協定成立シ居リ更ニ重慶ヲモ之ニ引キ入レ居ル處(詳細別稿参照)現狀ニ於テハ英米カ武力ヲ以テモ我方ノ進出ヲ喰ヒ止メントスル最後ノ線ハ「ビルマ」・新嘉坡・蘭印諸島ヲ連ヌル線ト判斷セラレ從ツテ我方ノ南進印進出ノ場合ニ於テハ英・米共ニ之ニ對シ武力ヲ以テ阻止セントスルコト無キモノト信ス

雖然英米カ我方ノ更ニ暴及進ンテハ新嘉坡蘭印等ニ南進スルヲ牽制センカ爲何等カ武力行使以外ノ手段ヲ以テ我方壓迫手段ヲ執リ來ルヘキコト豫想セラル

右壓迫手段トシテ英米等カ行フモノト豫想セラルル手段左ノ如シ

(1) 日本ノ行動ニ反對ナル旨ノ英米共同聲明

(ニイキリ、ゴト、
英米ヨリ抗議アリ)

(支那ニ對シ)

此レ

二十五年、米、英、

ニシテ、

一、

二、

三、

(2) 英・米・蘭・支軍事協力ノ強化

A. B. C. D. 改定

(3) 馬來・新嘉坡ヘノ兵力増強

(4) 泰ニ對スル反日工作ノ強化

(5) 米及英領内我方資産ノ凍結

(6) 本邦向物資ノ輸出制限

(7) 本邦船舶ニ對スル壓迫

(一) 米ノ執ルコトアルヘキ經濟的壓迫措置ニ關シテハ別稿參照
乍然假令英・米・蘭・支軍事協力ヲ強化シ又馬來ニ兵力増強スルトモ未タ彼ニ戰意無ク又自ラ進ンテ南部泰國ニ進駐スル實力無キノミナラス斯クスルコトニ依リ泰ヲ日本側ニ追込ム虞アルヲ以テ軍事のニハ積極的行動ニ出テサルモノト判斷セラレ、又經濟壓迫ヲ加フルトスルモ米國ノ資産凍結ニ付キテハ各年以來對策並ニ準備ヲ進メ右ハ略完了ヲ見居リ又物資ニ付キテハ既ニ重要物資ノ英米ヨリノ輸入ハ制限禁止セラレ居リ加フルニ我方

ノ船舶不足ノ關係上之以上前限強化セラルルモ左シタル影響無ク且最モ重要視スル石油ハ米國ニ於テ我方ノ進出カ佛印ニ止ル限リハ禁止ノ意向無キモノト判斷セラル尙今回ノ佛印進駐ハ佛印・泰國ノ物資確保ヲ待セシムルノ利益アリ

S 1.7.0.0-14 1257

問南佛印進駐ノ結果米國ノ執ルコトアルヘキ對日經濟措置如何帝國方佛印ニ進駐ノ場合帝國ノ南進牽制乃至不承認態度表明ノ爲米國政府ノ採リ來ルコトアルベキ對日經濟措置概ネ左ノ通

○、在米本邦資産ノ凍結
之カ實施ハ場合ノ影響ハ

(イ) 對米取引

事實上全面的貿易杜絶ヲ來スベシ但シ米國政府ガ政治的考慮ニ基キ本邦資金凍結后モ特定商品(石油)ノ對日供給繼續ヲ企圖シ「ゼネラル・ライセンズ」ノ發給ヲ爲スガ如キ場合ハ其ノ限度ニ於テノミ日米貿易ハ繼續サレ得ベシ

(ロ) 對中南米取引

對中南米取引ハ從來米弗建、紐育決濟ナリシガ我方ハ本件資金凍結實施ヲ豫想シ之カ對策トシテ中南米各國地場銀行ノ利用本邦米弗資金ノ正金銀行「リオデ、ジャネイロ」支店集中ヲ企圖

S 1.7.0.0-14 1258

シ成功セルヲ以テ殆ンド影響ナカルベシ尙右ノ外各國トノ直接
決濟ノ方式ヲ考慮中ナリ

イ) 對歐洲取引

紐育決濟ノ對歐洲取引ハ既ニ本年六月十四日公布ノ資金凍結令
ニ依リ不可能トナリタルヲ以テ今後モ影響ナシ

ニ) 金ノ買入停止

米國政府ハ本邦現送金ノ買入ヲ停止スルコトアルヘキモ本邦現在
ノ爲替事情ヨリシテ金ノ現送ヲ必要トセス從ツテ之ガ影響ハ全ク
ナキモノト認メ差支ナカルヘシ

三) 重要物資ノ對日供給停止

米國政府ハ輸出許可制ノ實施ニ依リ今日既ニ屑鐵、工作機械、化
學藥品等ヲ初メ約五百品目ニ上ル重要物資ヲ禁輸或ハ輸出制限シ
居ルモ帝國佛印ニ進駐スルカ如キ場合ハ更ニ右輸出許可制ヲ擴張
(新品目ヲ追加) 或ハ強化(輸出不許可ヲ決定) シ來ルベキコト

容易ニ想像シ得、尤モ右擴張品目トシテハ現在小麥、棉花、木材
ヲ殘スノミ又強化品目トシテハ石油及石油製品ニ對テ一般の許
可證ノ撤廢、比島ヨリノ鐵礦石等アルノミニテ石油及石油製品ニ
付テハ今回ノ佛印進駐ノ場合ニハ米國政府ハ政治的考慮ニ依リ石
油ノ全面的禁輸ヲ行ハサルモノト思考ス

四) 帝國船舶ニ對スル差別待遇

米國ハ最近國防上商船ノ運送ニ優先順位ヲ規定スル法律ハ所關シ
ツブス。ワシントン法案本年七月十五日成立一ヲ制定シタルカ米
ハ今後政治情勢ニ依リテ右一ツツブス、ワシントン一法案利用シ本
邦船舶ノ「パナマ」運河通航ノミナラズ米國港灣ノ使用、燃料其
他ノ補給、積荷及揚荷等ニ對シ差別的待遇ヲ與ヘ來ルコトアルヘ
シ

五) 本邦商社ノ排斥

米國ハ本年七月十七日「ラテン、アメリカ」ニ於ケル獨伊關係

商社千八百零七号「ブラック、リスト」ヲ發表セルガ其ノ際ニ於ケル「アチソン」國務次官補ノ言明ニ徴スルモ右「リスト」ノ範圍ヲ本邦及支那ニ於ケル我軍占領地域ニ及ホシ來ルベキコト明カナリ「ブラック、リスト」掲載ノ商社ハ右地域内ノ獨伊系商社ノミナラズ之ト取引アル本邦商社ヲ包含スベク之等商社ノ對米取引ハ事實上禁止セラルベキモ之ガ影響ハ局部的ト見做シ得ベシ之ヲ要スルニ前記五ノ經濟措置ハ帝國南進ノ場合何レモ之ガ實現ヲ見ルベキ可能性アルモ米國政府從來ノ遺方ニ徴スルニ即チ對外刺戟成ルベク少クテ而モ經濟壓迫ノ實効ヲ最大ニ納メントスル措置振リニ鑑ミ之等經濟措置ヲ同時ニ實施スルコトナク逐次漸ヲ追フテ實施シ來ルモノト豫測セラル、而シテ我方ヘノ影響ヨリ推シテ前記措置中、資金凍結並ニ輸出許可性ノ強化ハ最モ注意ヲ要スベク之等二措置ガ同時的ニ實施セラルルカ如キ場合ハ事實上ノ經濟斷交ト見做サザルベカラズ

問

兩部師印進駐ノ泰國ニ及ホスヘキ影響如何

答 泰國内ニハ未タ英米ノ勢力相當殘存シ居リ親英米派ノ蠢動モ之ヲ無視シ得サル状態ニアリ日英孰レニ付クヘキヤ去就ニ迷ヒ居ル有様ナル處今次我方ノ兩部師印進駐ニ依リ泰國内ニ於テハ我方ノ實力ニ信賴シテ日泰提携ノ方向ニ進マントスルモノト其ノ獨立ニ不安心ヲ感シ第三國ヲ利用シ日本ヲ牽制セントスルモノトヲ生スヘク又本件ヲ契機トシテ英ノ泰ニ對スル策動ハ一層強化セラルヘク勿論蓋當リ泰ニ對シ軍事行動ヲ起スカ如キコト無キモノト思考スルモ政治的經濟的ニハ各極ノ壓迫措置ヲ執リ來リ結局泰ハ其ノ態度決定ヲ余疑無クセラルヘシ

問 今後ノ對泰施策及一般南方施策如何
 答 泰ニ對シテハ今次措置ノ區力ヲ利用シテ從來ノ施策ヲ強化シ其ノ
 日英兩國間ニ處シテ首鼠兩端ヲ持スルガ如キ從來ノ態度ヲ證明シ、
 名實共ニ帝國ト同調シ、政治的、經濟的或ハ軍事的ニ緊密不可分
 ノ關係ヲ結バシムル様措置スル意向ナリ。
 蘭印。英領馬來。比島。濠洲。緬甸等ニ對シテハ、今次措置ガ英
 米支蘭等對日包圍態勢ニ對スル防禦的措置タルニ對シ、右ニ依リ
 之等諸國ニ對シ確固タル發言ヲ確保シ得ル次第ナルヲ以テ、之
 ヲ利用シ、主トシテハ之等地方ノ重要物資入手確保方施策シユク
 意向ナリ

問 答

交渉妥結後ノ日佛關係ヲ如何ニ爲スベキヤ
 日佛關係ハ各年八月ノ松岡「アンリ」協定、今年五月ノ經濟
 協定並ニ政治的了解ニ關スル議定書更ニ今次取遣ニ依リ佛印ヲ
 通ジテ愈強化セブレタルト共ニ、他方猶佛印ニ對シテ中心ニ佛
 國ノ對極軸國接近ハ今後益々増進スルモノト思考セラルル
 ル點ヨリスルモ日佛關係ハ益々緊密化スベク、又熱ク施策スル
 意向ナリ。
 但シ佛國カ屢次我方要求ヲ受諾セルハ實力ノ前ニ不得已屈服セ
 ルモノニシテ欣然受諾シタル次第ニ非ザルヲ以テ、我方ハ爾
 後ノ施策ニ付テハ特ニ慎重ヲ期シ、帝國トノ誠心誠意ノ協力ヲ
 除キテハ佛印ノ地位ヲ保チ得ザルヲ衷心期待セシムル様措置
 スル意向ナリ。

問 佛印進駐ノ蔣政權ニ與フル影響如何

答 蔣政權ハ豫メ我軍ノ南部佛印進駐アルヲ豫測シ居リタルヲ以テ直接之ニ急激ナル衝動ヲ與フルモノトハ思ハレズ然レ共今同ノ進駐ノ結果我方ノ南方ニ對スル壓力増加シ「ビルマルート」遮斷ノ可能性ヲ生ジタルコト及佛印、タイノ華僑ガ我方竝ニ國民政府ニ漸次同調的態度ヲ取ル可キコトハ蔣政權ニ取リ相當ノ痛手タル可シ他面我國ト英米トノ關係緊迫化ヲ豫想シ蔣政權トシテハ愈々長期抗戰ノ希望ヲ増スニ至ル可シ

問、佛印ニ對スル爾後ノ措置如何。

答、帝國ハ今次取極中ニ於テ再ビ確約シアル如ク佛印ノ領土保全及主權ヲ尊重スルコトナリ居レリ、即チ佛國ノ主權及領土保全ノ粹ノ中ニ於テ、政治的經濟的及軍事的ニ緊密不可分ニ我方ト同調セシメ以テ徹底的且純粹ノ意味ニ於ケル共存共榮關係ヲ具現スル様施策スル方針ナリ。

成強化シ以テ重慶ノ徹底的破壊ヲ期シ度キ考ナリ

○佛印進駐ノ國民政府ニ與フル影響如何
 昨年九月我軍ノ佛印北部ノ進駐ハ佛印ノ華僑ハ勿論一般土着民ニ
 モ甚大ナル衝撃ヲ與ヘ更ニ蘭印、「タイ」、馬來等ノ華僑ニモ重
 慶ノ抗戦力ニ對シ疑念ヲ生セシメ漸次國民政府ヘ歸順氣運ヲ温醸
 セシメタルカ今次進駐ニ當リ蘭印ニ於テハ進駐ハ佛印ニ止マルヘク
 蘭印ニ迄ハ來ラサルヘシト一般ニ觀察シ居ル模様ナルモ一般ニ與
 フル心理的影響ハ尠カラサルヘシト認メラル更ニ經濟的ニハ佛印
 ヲ通スル援蔣物資ノ遮断カ一層有效ニ行ヘルヘク第一次佛印進駐
 ノ際ニモ相當多量ノ援蔣物資ヲ我軍ニ於テ 蓋抑ヘルカ今後ハ佛
 印ヲ通スル援蔣物資ハ殆ト杜絶スルニ至ルヘク更ニ進シテ蘭印及
 「ビルマ」ヲモ突キ得ル體勢ヲ採リタルコトハ我方ノ決意ヲ示ス
 モノトシテ重慶ニ對スル打擊トナルヘク之ニ反比例シテ國民政府
 ノ地位ヲ向上セシムルモノト認メラル。政府ニ於テハ此ノ情勢ヲ
 利用シ南方ヨリスル對重慶壓力ヲ益々加フルト共ニ國民政府ヲ育

問 佛印進駐ノ華僑ニ與フル影響如何

答 一般華僑力重慶側必至ノ宣傳ニモ拘ラス漸次重慶抗戰ノ前途ニ疑念ヲ抱キ公債應募、送金等モ最近ハ一向ニ成績譽ヲラサルハ承知ノ通ナリ。今次佛印兩部進駐ハ此ノ頃ニ愈々拍車ヲ掛クルヘク佛印、「タイ」、馬來及南洋諸島ノ華僑ニ對シテハ今次進駐ヲ機トシ一層我方工作ヲ強化シ彼等ノ態度ヲ善政權ニ對スル洵瀟的態度ヨリ南京政府ニ對スル積極的態度ニ變更セシメ度キ考ナリ

問 佛印進駐ノ華僑ニ及ホス影響如何

答、佛印政府ハ和蘭カ今次戰爭ニ參加以來佛印ノ國防充實ニ努ムルト共ニ佛印防衛ニ關シテハ英國ト緊密ノ連絡ヲ圖リ共同防衛方針ヲ持シ從テ英領馬來ハ佛印防衛ノ第一線ナリトシ馬來ニ對スル脅威ハ直接佛印ノ脅威ナリト考ヘ居リ右ハ佛印總督ヲ始メ高官ノ公言スル所ナリ仍テ若シ帝國カ佛印ニ進駐シ之ニ軍事基地ヲ獲得シ英領馬來ヲ脅カスカ如キ態勢ニ至ラハ佛印ノ日本ニ對スル態度ハ漸次硬化シ遂次對日非常措置ヲ執ルニ至ルモノト認メラル。而シテ右點日非常措置及其ノ結果我方ノ憂ムルヘキ影響ニ付據テスルニ先ツ今回ノ日經會商ハ完全ナル妥結ニ達セザリシ爲メ文協定ノ締結ヲ見ス從テ佛印カ我方ニ與ヘタル約束ハ紳士的口約ニ違キス且日佛間ニ通常關係ノ締結ヲ前據條件トナシ居ルニ鑑ミ若シ蘭側カ我カ佛印進駐ヲ以テ佛印ヲ脅威スルモノナリト解釋スル場合ハ或ハ右約束ヲ取消シ護謨、錫、「ニウケル」、「ボ」キザイ

ト、「キナ」等ノ重要物資ノ對日供給ヲ減量又ハ拒絶スルト共
 ニ石油供給ニ關スル協定ヲモ破棄スルニ至ルヘキ惧レナシトセス。
 又今回約束セル石油「コンセツション」ノ許可ニ對シテモ形勢觀
 望的遷延策ヲトルニ至ルヘク更ニ事態ノ推移如何ニヨリテハ漸次
 兩國間ノ通商及經濟關係ヲ改變シ既存邦人事業並ニ在留邦人ニ對
 スル一切ノ便宜及好意の取扱ヲ停止シ最悪ノ場合ニ至ラハ此等邦
 人ノ事業及財産ニ對シ準敵國人ニ對スルカ如キ取扱ヲ行フニ至ル
 ヘキ惧レナシトセス

問 英米等ノ重要物資對日輸出制限ノ現状如何
 答 米國

石油（航空用ヲ除ク）及小麥以外一切ノ物資ニ付對日輸出ノ許
 可ヲ爲サス
 尙米國ハ中南米各國ヲ使曠シ物資ノ對日輸出禁止乃至制限ヲ爲
 サシメ居リ現在輸出制限ノ制度ノ無キハ「アルゼンチン」國（羊
 毛・小麥・玉蜀黍・皮革）一國ノミニ退キササル状態ナリ内最モ
 本邦ニ影響アルハ「ブラジル」ノ工業用「ダイヤモンド」及水
 晶「メキシコ」ノ水銀・螢石等ノ對日輸出禁止ナリ
 ニ加奈陀
 屑鐵・「ニッケル」・「アルミニウム」・銅・「コバルト」
 等金屬類ノ全部ノ對日輸出ヲ禁止ス
 ○小麥及「バルブ」ノ輸出ハ許可ス

三 濠洲

屑鐵・鉛・亞鉛・「カゼイン」・「コブラ」等ノ對日輸出ヲ許
可セス但シ小麥及羊毛ハ許可セラレ居レリ羊毛ニ付キテハ英本
國ノ需要セサルモノニ付輸出ヲ許可スル爲品質ニ於テ我方ノ必
要トスルモノヲ得ルコト困難ナリ

四 印度

「マンガン」及雲母ノ對日輸出ヲ許可セス但棉花ノ輸出ニハ支
障ナシ

五 海峽殖民地

「ゴム」・錫・「ボーキサイト」・「タンニン」材料ノ對日輸
出ヲ殆ト許可セス、鐵礦ハ現在輸出ヲ許可シ居レリ

六 南阿聯邦

雲母・工業用「ダイヤモンド」・羊毛ノ對日輸出ヲ制限シ居レリ

七 白領「コンゴ」

英國ノ壓迫ニ依リ「コバルト」(白領「コンゴ」ノ獨占品)ノ對日輸出ヲ禁止ス

八 比律賓

屑鐵・「クロロム」・「マンガン」(但極メテ低品位ノモノハ
除外)麻(屑物モ最近禁輸)「コブラ」・「バーム」油等重要
物資全部ニ亘リ對日禁輸時日ノ經過ト共ニ益々強化セントス

九 蘭印

「ゴム」・錫・「ボーキサイト」・「ニッケル」・其他重要物
資ニ付制限ヲ強化シ「ゴム」ノ如キ確約セル最低量年二萬噸ヲ
一萬五千噸ニ削減「ボーキサイト」ハ四十萬噸ノ假契約アルニ
拘ラス二十四萬噸ニ削減其他ノ物資ニ付テ對獨再輸出ノ懸念アリ
トテ制限シ獨蘇開戦後モ態度ヲ改メズ右ハ日本ノ物資獲得ヲ困
難ナラシメントスル英米對日政策ノ現レナリ

極秘

1

「擬問擬答」追加
問 英米側ノ對抗的措置ヲ豫辯シテ迄モ今次措置ヲ採ルニ到リタル

理由如何
答 自衛措置ノ一言ニ盡ク

(1) 先ツ經濟的ニ見ルニ、英米側ハ逐次對日經濟壓迫ヲ強化シ帝國トシテ此ノ儘ニ何等對抗措置ヲ採ラスシテ推移ヤンカ大東亞共榮圈ノ建設ハモトヨリ支那事變ノ完遂モ困難トナリ竊局ニ於テ帝國ハ非常ナル難局ニ陥ルニ致ルヘシ(經濟壓迫ノ事例ハ別項

參照)

前記ノ如キ情勢下ニ於テ帝國ノ必要ナル物資ヲ兩方殊ニ佛印、

泰ヨリ確實ニ入手シ得ルヤ否ヤハ實ニ帝國死活問題ナリ

佛印ニ就テハ本年五月經濟協定成立ヤリト雖モ右實施ヲ確實ナラシムルノ要アリ又泰ヨリ必要ナル物資確保ニツイテモ種々施策ヲ必要トスル處今次佛印ニ對スル措置カ帝國ノ地位ヲ極メテ

S 1.7.0.0-14

1275

有利ナラシムルハ言フ迄モナシ

(1) 次ニ政治的ニ見ルニ英米ノ對日包圍陣ハ濠洲、加奈陀、南領印度、比律賓、緬甸、馬來及ヒ蔣政權ヲ含ミ殊ニ英米支團間ニ帝國ノ南下ニ備フル爲ノ種々ノ話合ヒ出來居リ前記經濟壓迫ト相俟テ漸次帝國壓迫ノ態勢強化セラレツツアリ從テ斯ル包圍陣ニ對シ豫メ反擊的體勢ヲ採ルニ非ラザレバ帝國ノ自衛上由々シキ大事ナリ

(2) 更ニ軍事的ニ之ヲ見ルニ米國ノ對日軍備擴張ハ云フ迄更ナリ

南方諸國モ夫々軍備強化ヲ策シツツアリ而シテ英米支團支ノ間並ニ英支間ニハ日本ヲ目標トスル軍事的話合成立シ居ルヲ以テ作戰上之ヲ反擊シ得ルノ有利ナル據點ヲ確保スルニ非ラザレハ帝國ノ國防全カラサルヘシ

2

(3) 之ヲ要スルニ世界ヲ舉ケテノ動亂ニ際シ帝國ヲシテ外敵ノ侵攻ヨリ安全ナラシメ經濟的ニ自給ノ途ヲ構ヤシメ大東亞共榮圈建

S 1.7.0.0-14

1276

設ニ邁進ヤシメ得ルカ爲ニハ今次措置ノ如キハ自衛的最少限度ノ手段ニ過キス

(外) 英米側ノ經濟的對抗手段ハ豫テ豫期ヤラレ居リシ處ニシテ右ハ英米側ノ經濟的壓迫ノ手段トシテイツレ遠カラス實施ヤラレタルベシ英米側トシテハ偶々今回ノ機會ヲ捉ヘ之ヲ發動サルニ過キス從テ今次帝國ノ佛印ニ對スル措置ナカリシトスルモ右ヲ阻止シ得タリシヤ否ヤハ疑問ナリ

(二) 尙英米側ノ經濟的對抗手段ニ對シテハ帝國トシテモ既ニ準備ヲ完了シ居リンノ影響輕微ナリ英米側トシテハ專シ日本ニ對スル「モーラル。エフニクト」ヲ狙ヒタルモノト云フヘシ

問 支那事變完遂ト佛印共同防衛トノ關係如何
答 佛印共同防衛ノ措置ハ支那事變處理ニ貢獻スル處頗ル大ナリ即チ

(一) 蔣政權援助ノ途ハ今ヤ南方主トシテ緬甸「ルート」ヲ殘スノミトナレリ佛印共同防衛ノ結果緬甸「ルート」ニ更ニ大ナル脅威ヲ與フ

(二) 佛印ハ完全ニ我方ニ同調セルヲ以テ佛印南部ニ於ケル蔣政權ノ工作ハ今後一切不可能トナリソノ打撃尠カラヌ

(三) 國民政府ノ強化ニ尠カラサル好影響ヲ與フ
(四) 佛印四十万ノ華僑ハ我方ニ同調シ來ルヘク右カ泰其他ノ華僑ニモ反響シ南洋華僑全般ニ動搖ヲ與フル端緒トナリ蔣政權ニ打撃ヲ與フ

(五) 今次措置ハ英米側ニトリ大ナル脅威トナルヘキヲ以テ從來ノ如ク積極的ニ蔣政權援助強化ヲ繼續スルコト困難トナルヘシ
(六) 以上ノ諸要素ハ凡テ蔣政權ノ抗戰繼續力ヲ弱化シ他方我方ヲシ

問 佛印共同防衛ト獨伊トノ諒解トノ關係如何

答 獨伊ヘ三國同盟ニ於テ既ニ大東亞ニ於ケルコトヘ日本ニ一任シ
居ルヲ以テ佛印問題ニツイテモ素ヨリ日本ノ措置ヲ諒承スルモノ
ナリ今次交渉ニ際シ帝國政府ヘ在獨伊日本大使ヲシテ若シ佛政府
カ獨伊ニ泣付クカ如キ場合ニハ之ヲ斥クルト共ニ日本ノ要求ヲ受
諾スヘク佛側ヲ説得スル様間接的援助ヲ獨伊政府ニ申入レシメ置
キタリ

テ大東亞建設ヘ一歩ヲ進メシムル結果支那事變完遂ニ大ナル寄
獻ヲナス

問 佛領印度支那ノ資源如何

答 一 農業 農業ハ印度支那經濟ニ於テ最重要ナル地位ヲ有シ總輸出高ノ約六八パーセントヲ占ム

出高ノ約六八パーセントヲ占ム

米ハ最モ主要ナル耕作物ニシテ土民ノ常食タ、共ニ重要輸出品ナリ、米田ノ一九三九年耕作面積約一萬一、

クダール、年産額七百餘萬ニシテ其ノ内約百餘萬

輸出ス

玉蜀黍一其ノ重要性ニ次キ、一九三九年耕作面積約五十

萬一ヘクタール、産額六十餘萬ナリシモ近年我國ノ大體

買付ノ結果産額急激ニ増加ノ傾向ニアリ

「ゴム」一近年相當ノ重要性ヲ占メ最モ重要ナル栽培地帯ハ

交趾支那ナリ、一九三九年産栽培面積約十二萬五千一ヘク

タール、輸出四萬一千四百五十三萬ナリ

S 1.7.0.0-14

1281

8

其他一 珈琲 (三千五百萬) 茶 (一萬五千萬) 葉煙草 (一萬五

千萬) 甘蔗 (六萬萬) 棉花 (一萬二千萬) 「カボック」

(三千五百萬) 黃麻 (五萬萬) 「コナラ」 (二萬五千萬)

落花生 (二萬萬) 胡椒 (三千五百萬) 蓖麻子 (五千萬)

胡椒 (三千五百萬) 漆 (二千五百萬) 蘭 (二百萬) 等

アリ (但シ數字ハ一九三八年度現在)

ニ 牧畜業 畜産ハ余ク土民ノ手ニ依リ行ヘレ家畜頭數概略牛二百

五十萬、水牛二百萬、馬八萬、豚三百五十萬ナリ

三 水産業 水産資源ノ大部分ハ住民ノ食用ニ供セラル、海岸線ニ

香五百軒ニ達シ魚族ノ種類多種ナルモ、氣温ノ關係上生魚ノ

保存ニ適ヤズ、河川及湖沼ニハ淡水魚繁殖シ特ニ東埔寨「グ

ラン・ラック」ハ著名ナリ、一九三六年度水産物輸出ハ乾魚、

塩魚、燻魚、其他ニテ約二十五萬八千一「キントール」、乾蝦約

一萬三千一「キントール」ナリ、尙塩ノ産出量モ大ナリ

S 1.7.0.0-14

1282

四 林業 森林面積推計三十一万二千平方尺、大森林ハ安南、交趾支那、就中老樺ニ存ス、一九三七年「チーク」材ノ輸出一万一千二百三十噸、木炭四千八百二十噸ナリ

五 鑛業

石炭：主要生産地ハ東京（「ホンゲイ」及「ドントリユー」炭坑）ニシテ同州ニ於ケル總産額ハ一九三七年度ニ於テ二百三十万噸、輸出數量百五十五万噸ナリ
亜鉛：東京州ニ重要ナル鑛床アリ一九三六年度亜鉛鑛産出一万二千噸、金屬亜鉛ノ輸出ハ六千二百二十二噸ナリ
錫：錫ハ東京（「トキン」）ノ「ピア、ワク」ノ花崗岩地帯及老樺ノ「ナム、ハチーヌ」盆地ニ産ス、一九三七年度錫鑛石採掘總額二千四百十八噸（金屬含有量一千四百五十一噸）ナリ
其他：鉛（四六噸、金屬含有量三二噸）、「タングステン」（三八三噸、金屬含有量二五〇噸）、鐵鑛（一〇、〇一七噸）

金屬含有量四、八七〇噸）滿庵鑛（三、四二九噸、金屬含有量一、六一三噸）「アンチモン」（一、〇八〇噸、金屬含有量五二七噸）、金（二〇四兩）銀（一七四兩）燧石（一〇、三三六兩）黒玉、青玉等アリ

六 工業

佛印ノ工業ハ鑛業、農林業等ノ若干ノ特殊ノ近代工業ヲ除キテハ全般ニ地場消費ヲ對象トスル原始的ノ小工業ナリ主要工業トシテハ精米業（西貢ノ隣接都市「シヨロン」ハ東洋ニ於ケル著名ナル精米工業都市ナリ）製糖業（殆ド全部西貢ヲ中心ニ在リ一九三五年産三万六千噸ナリ）紡績工業（綿糸布工業ハ全般ニ行ハレ歐人經營ノモノ七箇アリ年産約六万噸ナリ）「セメント」工業（佛印ハ石灰石ニ富ミ必要ナル「セメント」及水化石炭ヲ生産ス、一九三八年度生産約二千六百万噸ナリ）化學工業（西貢及海防ニ酸素煉解、「アセチレン」及溶接器製造工場アリ）電力事業（各河川水壓豊富ニシ

テ水力ノ利用ニ恵レ石炭埋蔵量モ大ナルヲ以テ將來十分發達
ノ可能性アリ。其他、製油工場、石鹼工場、糖蜜工場、麥
二場、木材加工工場、澱寸工場、炭二場等アリ。

問 「タイ」國ノ資源如何

(一) 農業

答 米ノ最重要ナル農業ノ一ニシテ一九三九年度ノ產額三、三九

九、〇二一噸、其ノ輸出金額九七、四一九、三四一「バー」

(一)「パート」約一圓六十錢ニシテ總輸出額ノ六割ヲ占ム

煙草ノ其ノ栽培方法改善セハ將來有望ニシテ一九三九年度ノ產

額ハ一三三、八八一「ビクル」ナリ

棉花ノ我國ヨリ専門家ヲ招聘シテ其ノ改良増產ニ務メ近年其ノ

產額モ増加シ居レリ一九三九年度ノ產額ハ一八、〇四七「

ビクル」ナリ

護謨「ゴム」ハ概ネ南部地方ニ產出シ其ノ總耕地面積ハ約三

一萬「エーカー」其ノ產額約四萬六千噸ニシテ其ノ輸出額二

五、一〇一、〇七三「パート」ナリ

豆類

「メー・ナム」河上流地方ヨリ東海岸地方ニ亘リ栽培サレ其ノ主ナルモノハ大豆、豌豆、青小豆、南京豆等ニシテ昨年度ニ於ケル大豆ハ一六二、〇二二「ピクル」、豌豆ハ二四三、〇六四「ピクル」ナリ

其他

玉蜀黍ハ國內諸ル處耕作サレ收穫量八三、七五三「ピクル」ナリ

胡椒

年産額三、二五〇「ピクル」

椰子

其ノ種類多ク「ココ」椰子、檳榔椰子、「パルミラ」椰子、砂糖椰子、「ニッパ」椰子等ニテ「ココ」椰子ハ東南部ト半島部ニ多ク其ノ年産一六〇、〇九四、五九九個ニシテ大部分ハ果汁ヲ飲用ニ「コブラ」ハ食用又ハ石炭原料トシテ輸出サル

(二) 林業

「チーク」材「タイ」國ノ林産輸出代表品ニシテ北部地方ニ最盛ニシテ其ノ生産額ハ世界生産量ノ六五%ヲ占メ一年ノ伐採量ハ約三萬立方メートル稱ヤラル

(三) 鑛業

錫一馬來半島西海岸ノ「ブーケット」州一帯ハ其ノ中心地ニシテ年産額約二七、〇〇〇噸ノ錫鑛石ヲ産出シ其ノ含有錫量ハ約一四、〇〇〇噸ナリ

石油一未ダ的確ナル實地調査行ハレザル爲其ノ埋藏量ハ不明ナリ

「タングステン」ハ錫鑛ト共ニ産出サレ將來年産額六百噸ヲ豫想サレ居レリ

鐵一南部及北部ニ現ニ鑛區ヲ設メラルモ鑛質、埋藏量等調査中ナリ

其他「イルミナイト」、金鎖、「オイルシエル」等モ産出ス

ルモ未ダ明確ナル調査行ヘレ居ラス

四工業

其ノ發達頗ル遅シ「セメント」工場、「ビール」工場等アルモ
大工業ニハ見ルベキモノナク中、小工業中最モ重要ナルモノハ
精米業ノミナリ其他家内工業トシテハ水産業、紡織業、漆工業
陶工業アリ最近政府ハ製糖工場、製紙工場、紡績工場、石油工
場等ヲ建設シタルモ未ダ試験的ニ止マリ居レリ、尙酒精工場、
水力發電所等モ計畫中ナリ

S 1.7.0.0-14

1289

第二に出発、派遣軍に随する以外の諸機関、
 如これを外交大権の下に統合して、外務大臣
 の指令下に置くことを眼目とする、この第二
 點は特に重要であり過去に於ける東亞建設の
 尊き經驗より割り出した新布石である
 共同防衛の取極めを新内閣の第一の成功とす
 るならば特派大使の派遣即ち佛印に於ける外
 交機關の依怙率化は豊田外交の第二の成功と
 いへる
 他方佛印側に於てもドクニ總督をはじめ經濟
 界、言論界等ひとしく共同防衛の趣旨を日佛
 印兩國の經濟、金融、通商の各部門にも協力
 緊密に展開しなればならぬと述べて、兩國の
 全面的な相互依存の要求を唱論してゐること
 が注目される

6 1.7.0.0-14

1290

續く
半

佛印増駐は四日其の一切の配置を完了した。
 今回の措置が極めて圓滑に完遂されたことは
 全く世界的意義を有するものであつた。然し
 ながら東亞共榮圈確立の本旨からすれば共同
 防衛は要するに前提に過ぎない、この前提の
 上に外交、經濟、通商の各方面の協力が行は
 れてこそ初めて共榮の實が擧げ得られる
 帝國政府は近く佛印に特派大使を差し向ける
 方針と言はれる、その目標は第一に佛印の領
 土的自主權を尊重して外交折衝をなすこと

6 1.7.0.0-14

1291

續く
半

佛印増駐し共同防衛より各部門の協力

◎週間外交展望

十一年八月十日

手紙
 四號
 十一年八月十日